

慈明院寺報十二月号

馬を指して鹿と為す



はや師走、今年も残りわずかである。振り返れば色々あった。

日本初の女性総理大臣の就任、ミスタージャイアンツ・長嶋茂雄さんの逝去、大谷翔平選手が所属するドジャースのワールドシリーズ連覇、令和の米騒動やトランプ関税など「そんな馬鹿な！」と驚くような出来事も多い一年だった。

「馬を指して鹿と為す」これが馬鹿という言葉の由来だとされている。昔中国の秦の始皇帝の死後、若い息子が二世皇帝になった。すると趙高という悪い家臣が宰相となつて権力を握り、自分の思うままに横暴な政治を行った。

ある日、趙高は自分の権力を試してみようと、皇帝に鹿を献上し、これは馬でございますとたくさんの家臣の前で言い放った。まわりの家臣は皇帝を軽んじた行為に驚いたが、趙高の権力にへつらい反論する者はいなかったという。しかも正直に鹿であると答えた家臣は、趙高によって処罰されてしまう。この故事から間違つた事を無理やり押し通したり、他人を愚弄する事を馬鹿（バカ）と表現するようになった。

馬は温和で敏感な社会性の高い動物であり、人のパートナーとしての歴史も長い。家畜として運搬や農耕、移動手段として重宝された。日本では馬頭観音という動物を救済する観音菩薩にも、その姿が取り込まれている。馬頭観音は「馬が一心に草を食むように、人の煩惱を食べ尽くし救済する」仏様だという。昔は家畜の動物を供養する為に、道の辻や馬の墓所にまつられた。何でも今は競馬の前に拝む人があるのだとか・・・馬頭観音も苦笑いだろう。

情報の多い時代である。人間万事、塞翁が馬ではあるが、自分の心に馬を鹿と偽る事が無く、皆様の新年が『ウマ〜く』いきますように。 住職 合掌

新年のご案内 初大黒天 護摩祈願法会

正月元旦、恒例の「令和八年 初大黒天 護摩祈願法会」を左記日時にて奉行致します。皆様ののご参拝をお待ちしております。（詳しくは別紙参照）

一番座

一月一日 午前0時より（大晦日の夜中二十四時より）

二番座

一月一日 午後二時より（正月元旦のお昼十四時より）

＊古いお札・お守り等、当日お持ち下さい。後日供養致します。

＊紅白もち、縁起物のお菓子をお接待致します。

（来年）令和八年の年忌について

一周忌	令和七年	逝去
三回忌	令和六年	〃
七回忌	令和二年	〃
十三回忌	平成二十六年	〃
十七回忌	同二十二年	〃
二十三回忌	同十六年	〃
二十五回忌	同十四年	〃
二十七回忌	同十二年	〃
三十三回忌	同六年	〃
三十七回忌	同二年	〃
五十回忌	昭和五十二年	〃
七十回忌	同三十二年	〃
百回忌	同二年	〃

来年 令和八年に年忌を迎えられる仏様の亡くなられた年の一覧です。参考にして頂き、法事の希望などございましたら、電話でご連絡下さいませ。

年忌の法事はご命日より前に行う場合が多いですが、必ず前でなければならぬという訳でもありません。命日を過ぎて、ご法事をなさっても大丈夫ですし、都合の良い日にちでのご供養して頂ければと思います。

＊（昭和六十四年）は（平成元年）（平成三十一年）は（令和元年）と同年。

慈明院（〒八一一一三三 福岡市早良区大字西二三四一・二〇）

TEL（〇九二）八〇四・四五七〇 FAX（〇九二）八〇四・四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇・（五二八一）・七四九四